

## 令和5年度（公財）のべおか文化事業団 事業報告

### 1. 事業報告書

#### (1) 概況

当年度は、感染症等の利用制限もなく、施設利用者や来場者共にコロナ禍以前の水準まで回復しており、概ね計画通りに施設運営を行うことができました。

当年度の入場者数については、延岡総合文化センター115,268人、野口遵記念館70,051人、2館合わせて185,319人(前年比68,645人増)で、開館以来の延入場者数は、7,540,560人となりました。

また、各施設の利用率については、延岡総合文化センターの場合が、ホール45%(大ホール42%、小ホール48%)、練習室64%、展示室48%、会議室関係41%となっています。また野口遵記念館の場合は、開館して初めて12カ月の運営となりますが、ホール67%、フリースペース57%となっています。前身の野口記念館の時には、ホールの利用率は30%程度でしたので、2倍ほどの利用率になっています。

また、施設の利用料金収入については、延岡総合文化センター23,673,600円、野口遵記念館17,714,860円、2館合わせて41,388,460円(前年比11,447,640円増)となっています。

#### (2) 施設の管理について

施設の管理については、施設全般にわたって専門業者による定期的な保守点検を実施し万全を期しておりますが、延岡総合文化センターは築38年以上が経過し、各設備・機器の老朽化による計画的な改修が必要となっておりますので、市所管課への報告・協議を行い対応に努めています。

当年度は、昨年度より繰り越された、舞台機構及び非常用蓄電池設備の改修を含め、高圧ケーブル更新、事務室空調機新設工事等を実施しました。なお、機器の調達が遅れ、音響設備更新工事や冷凍機整備は先送りとなっています。

今後とも、「目配り・気配り・心配り」をモットーに施設の維持管理を行い、利用者に安全で、安心して利用していただけるように努めてまいります。

また、野口遵記念館については、開館1年が経過し不具合も見られますので、市所管課と調整を行い、安心して利用いただける施設運営に努めてまいります。

#### (3) 自主文化事業について

当年度は、「野口遵記念館」開館記念イベントイヤーと位置付けて、36公演の自主文化事業を開催いたしました。クラシックから演劇、ワークショップなど様々なジャンルを行い、世代を問わずご来場いただきました。

当年度の自主文化事業の入場者数は17,877人(前年比8,728人増)、収入は27,427,619円(前年比22,151,619円増)、支出は40,177,043円(前年比28,554,690円増)となっています。文化庁や宮崎県の補助金、延岡市の委託料により、実質的な収支は909,392円の黒字となっています。

来年度は、野口遵記念館をさらにアピールし、広く市外の方々に知っていただけるように公演招聘事業など5つの事業の組立てで、自主文化事業に取り組みます。

また、月刊情報誌「じゃがじゃがのべおか」の発行、延岡総合文化センターと野口遵記念館のホームページの充実を図るとともに、ラインやインスタグラムなどSNSでの情報発信を継続的に行い、幅広い年齢層への情報伝達に努めます。また、チケット販売システムの導入を行い利用者の利便性を高めます。